

施策大綱 7 行財政運営の効率化					
施策の目的	(1) 市民満足度の高い行財政運営を進める				
施策分野	行政運営	財政運営	連携事業		
基本方針	○常に市民ニーズを把握することで、費用対効果の高いサービスを提供し、市民満足度の高い行政運営の実現を目指します。				
施策の方向	地域情報化の取り組み	前期基本計画 P 107			
指標名	指標の考え方	現況 2017年	方向性	目標 2022年	該当
行財政改革に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	12.1%	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	17.1%	○

担当部 **市長公室** 担当課 **デジタル推進課**

事業名 (任意)	予算科目			
	会計	款	項	目
LoGoチャット	一般会計	2	1	9

成果指標		目標値			
指標名	単位	R3現状値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
積極的利用職員数	人	197	300	400	500

事業内容

庁内の迅速・確実なコミュニケーションを目的に、現在の電話・メールなどの1対1通信からチャットによる1対多数の通信に移行することにより、業務効率化・時間削減を図る。
 また、認証機器のみでの利用やロック機能などLINEと比較した万全なセキュリティ、災害時の一斉連絡、緊急時の上長報告(エスカレーション)の円滑さにLoGoチャットの強みがある。
 なお、令和3年9月1日に開催された情報化推進本部(本部長=副市長)で、下記3点が議決されている。

【情報化推進本部議決事項】
 ・LoGoチャットの全庁導入推進
 ・LINEの業務情報入力禁止の周知徹底
 ・LoGoチャットでの職員安否確認利用模索

【削減効果】
 [令和3年9月常総市職員利用状況(ログ解析)] から削減金額を計算
 ●利用した職員数： 197人×240日×15分=11,820時間
 ●推定削減金額： 11,820時間×3000円=35460千円削減

※想定条件
 職員平均時給を3,000円とする。
 トラストバンク資料より、職員1人当たり1日15分削減と想定する。
 全職員合計1,171時間以上削減すると利用料(3696千円)を取戻す。

令和4年度		令和5年度		令和6年度	
<事業内容> 各業務におけるLoGoチャット利用：使用料及び賃借料 <経費> 800ライセンス月額：308,000円 (350円×800人×消費税) なお、令和3年度は令和3年8月～無料トライアルを実施。 上記計算であれば、 197人×20日×15分=985時間 ⇒2955千円/月を削減している。		<事業内容> 各業務におけるLoGoチャット利用：使用料及び賃借料 <経費> 800ライセンス月額：308,000円 (350円×800人×消費税)		<事業内容> 各業務におけるLoGoチャット利用：使用料及び賃借料 <経費> 800ライセンス月額：308,000円 (350円×800人×消費税)	
予算額	3,696 千円	予算額	3,696 千円	予算額	3,696 千円
内 特財	千円	内 特財	千円	内 特財	千円
内 一財	3,696 千円	内 一財	3,696 千円	内 一財	3,696 千円

※特定財源がない場合は、見直す事業名や金額を記載してください。
 平成30年度導入した基幹システム再構築プロポーザルにより年間8,000万削減を実現しております。また、業務効率化について現在当該で導入しているシステム等を削減した場合、現在の市役所として成立ができません。業務効率化・費用対効果を考慮した導入であるため、縮小などは不要と考えます。